

2024年度後期 東京成徳大学授業評価アンケートの集計結果の概要（大学全体、経年比較含む）

1. 調査目的
2. 調査対象
3. 実施期間
4. 回収状況
- 「東京成徳大学学生による授業評価実施規程」第2条による。
東京成徳大学が開講する授業科目（専任、非常勤教員）のうち同規定第3条に定めるもの
2024年12月16日（月）～2025年1月24日（金）

	国際	臨床	健康	子ども	経営	大学院	合計
授業数	39	42	45	92	57	9	284
履修者数	1,476	3,301	1,613	5,589	3,692	108	15,779
回答者数	824	1,335	646	2,585	1,488	41	6,919
回答率（2024後期）	55.8%	40.4%	40.0%	46.3%	40.3%	38.0%	43.8%
回答率（2024前期）	54.2%	51.9%	56.8%	54.7%	45.6%	62.7%	52.1%

質問項目	2024後期	2024前期	2023後期	2023前期	2024後期		回答数				
	全体平均	全体平均	全体平均	全体平均	標準偏差	Q10相関係数	④	③	②	①	総数

I. あなた自身について（学生努力）

橙色:3.5以上or高値、緑色:3.3未満or低値

Q1 この授業に対して、あなたはどのように取り組みましたか。	3.60	3.57	3.59	3.61	0.57	0.50	32	187	2262	4430	有効 6911
①熱心に取り組んだ ②ある程度熱心に取り組んだ ③あまり熱心に取り組まなかった ④熱心に取り組まなかった							0.5%	2.7%	32.7%	64.1%	無効 2

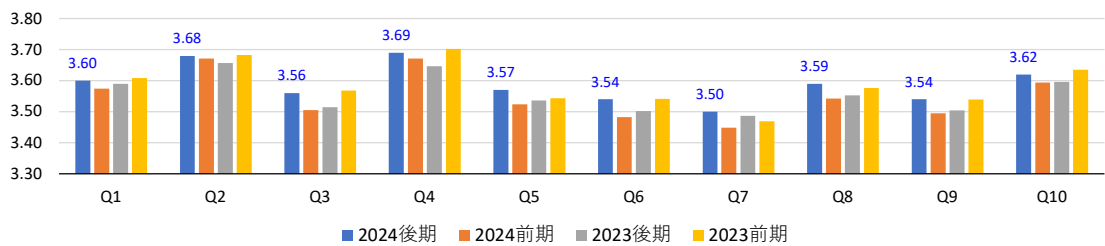
II. 教員について（教員努力）

Q2 教員は授業の初回でシラバスの内容(授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等)を説明しましたか。	3.68	3.67	3.66	3.68	0.55	0.55	44	170	1733	4965	有効 6912
①説明された ②ある程度説明された ③あまり説明されなかった ④説明されなかった							0.6%	2.5%	25.1%	71.8%	無効 1
Q3 教員の話し方や情報提示、課題提示の仕方は、わかりやすかったですか。	3.56	3.51	3.51	3.57	0.66	0.65	108	351	1998	4452	有効 6909
①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった							1.6%	5.1%	28.9%	64.4%	無効 4
Q4 教員は、教材(テキスト、スライド、配付資料、動画、その他)を適切に使用して授業を行っていましたか。	3.69	3.67	3.65	3.70	0.57	0.57	69	151	1667	5024	有効 6911
①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった							1.0%	2.2%	24.1%	72.7%	無効 2
Q5 教員は、事前・事後学修についての指導を行っていましたか。	3.57	3.52	3.54	3.54	0.66	0.58	110	349	1957	4493	有効 6909
①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった							1.6%	5.1%	28.3%	65.0%	無効 4

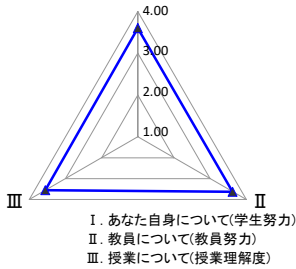
III. 授業について（授業理解度）

Q6 この授業の内容は、わかりやすかったですか。	3.54	3.48	3.50	3.54	0.68	0.71	121	363	2114	4309	有効 6907
①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった							1.8%	5.3%	30.6%	62.4%	無効 6
Q7 この授業は、知識の伝達だけでなく、学生の授業への能動的な参加を促す形で行われていましたか。	3.50	3.45	3.49	3.47	0.76	0.54	216	490	1799	4405	有効 6910
①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった							3.1%	7.1%	26.0%	63.7%	無効 3
Q8 この授業を受けて、新たな知識やスキルを習得できましたか。	3.59	3.54	3.55	3.58	0.63	0.77	94	243	2095	4473	有効 6905
①習得できた ②ある程度習得できた ③あまりできなかった ④できなかった							1.4%	3.5%	30.3%	64.8%	無効 8
Q9 この授業は、あなたにとって興味深いものでしたか。	3.54	3.50	3.50	3.54	0.68	0.79	124	369	2048	4366	有効 6907
①興味深かった ②ある程度興味深かった ③あまり興味深くなかった ④興味深くなかった							1.8%	5.3%	29.7%	63.2%	無効 6
Q10 この授業を受けて、自分のためになりましたか。	3.62	3.59	3.60	3.63	0.62	1.00	98	210	1900	4693	有効 6901
①ためになった ②ある程度ためになった ③あまりためにならなかった ④ためにならなかった							1.4%	3.0%	27.5%	68.0%	無効 12

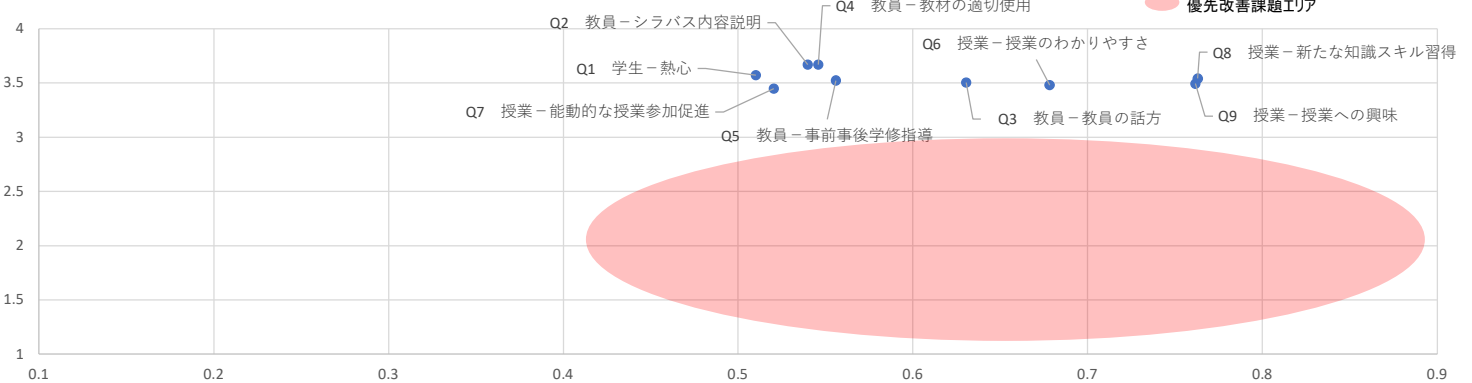
2024後期～2023前期の比較



評価レーダーチャート



総合質問(Q10)との各項目相関(大学全体)



2024年度後期 東京成徳大学授業評価アンケート集計結果の主要Facts（大学全体）

1. 総 論

- ・ 回答率

43.8%

2024年度前期52.1%に比べると低下している。
- ・ 質問項目

10項目すべてが3.5以上と高評価
- ・ 総合質問「Q10.自分のためになった」との相関関係

相関関係が高い項目

「Q6内容は、わかりやすかった」（0.71）、「Q8. 新たな知識やスキルの習得」（0.77）、「Q9. 授業の興味深い」（0.79）

相関関係が低い項目

「Q1.（学生の）授業への取組み方」（0.50）、「Q7. 学生の授業への能動的な参加促進」（0.54）

表1 「Q10.自分のためになった」との相関関係が高い項目（カッコ内は相関係数）

	第1位	第2位
2024年度後期	Q9.授業が興味深い（0.79）	Q8.新たな知識・スキル（0.77）
2024年度前期	Q9.授業が興味深い（0.76）	Q8.新たな知識・スキル（0.76）
2023年度後期	Q9.授業が興味深い（0.78）	Q8.新たな知識・スキル（0.76）
2023年度前期	Q9.授業が興味深い（0.76）	Q8.新たな知識・スキル（0.75）

（課題）学生：「Q1.授業への取組み方」と「Q10.ためになった」との相関関係が相対的には低い・要改善
教員：「Q7.能動的参加の促進」と「Q10.ためになった」との相関関係が相対的には低い・要改善

2. 「教員努力」について（高い項目、低い項目ともに1,2位は2024年度前期と同じ）

- ・ 評価値が高い項目

「Q2.シラバスの説明」（3.68）
「Q4.教材の適切な使用」（3.69）
- ・ 評価値が低い項目

「Q3.話し方、情報提示・課題提示のわかりやすさ」（3.56）
「Q5.事前・事後学修の指導」（3.57）

（課題）「Q3.話し方、情報提示・課題提示のわかりやすさ」が相対的には低評価・要改善

3. 「授業理解度」について（2021年度後期以降同一結果）

- ・ 評価値が高い項目

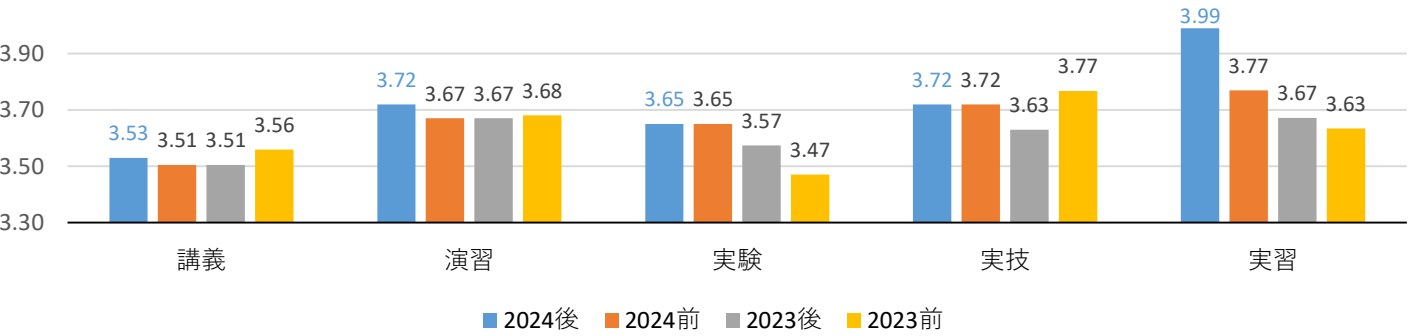
「Q8.新たな知識とスキル」（3.59）
「Q10.ためになった」（3.62）
- ・ 評価値が低い項目

「Q7.授業への能動的参加の促進」（3.50）

（課題）「Q7.授業への能動的参加の促進」が相対的には低評価・要改善

4. 授業形態別集計、履修者数別集計

・授業形態別の評価値（平均値、回答者数は、講義：4842人、演習：1828人、実験：78人、実技：122人、実習：12人）



・履修者数別の評価値（平均値、大大人数：91人以上、大人数：61～90人、中人数：31～60人、少人数：16～30人未満）
（回答者数、大大人数：3091人、大人数：891人、中人数：2208人、少人数：723人）

